

## 学 界 動 向

### 「グローバルな視点から 見た日本の市民社会」 会議について

鈴木 玲

2000年1月13日から15日まで、“Global Perspectives on Civil Society in Japan”（グローバルな視点から見た日本の市民社会）という会議に参加した。この会議は、ハーバード大学日米関係プログラムが主催、ハワイ大学イースト・ウエスト・センターと慶応大学の協力でハワイ大学で開かれた。アメリカと日本の政治学、歴史学、社会学の研究者約20人が参加し、日本の市民社会のさまざまな側面を扱った12本の論文が発表された（会議のプログラムは下記を参照願いたい）。参加者の特徴は、シニア・中堅の研究者のみならず、若手の研究者（大学院生を含む）が多かったことである。会議は「ワークショップ」形式で行われ、執筆者が論文を短く紹介した後、他の参加者が論文テーマについてかなり深く掘り下げて討議した。会議での議論をふまえ、執筆者は論文を加筆・修正し2000年半ばに再提出する。そして、最終的には一冊の本にまとめられる予定である。

会議で発表された論文の大まかな論調は、日本において市民社会は強くなりつつあるというものであった。ただし、日本の場合、市民社会は国家と対抗的な関係で発展するというより、国家との連携関係で発展する場合が多いことが指摘された。そのため、多くの論文が市民社会発展における国家の役割にも触れ、国家およびその制度が市民社会の発展を抑制または促進したり、市民社会組織が一定の組織形態をとるよ

うに影響力を行使していることを指摘した。論文のテーマは多様で、社会運動・市民社会組織の具体例を分析したもの、調査・統計手法を使い市民社会の規模と長期トレンドを計測したもの、市民社会発展の条件を社会心理学の立場から分析したもの、そして日本の市民社会を理論的に検討したものなどがあつた。発表論文で扱われた市民社会組織は、消費者運動（団体）、国際開発非政府組織（IDNGO）、社会福祉団体、農協、業界団体、労働組合などである。

議論が最も集中したのは、市民社会の定義・範囲についてである。なぜなら、参加者の間で市民社会の定義について大まかな合意が形成されなければ、論文を本にまとめることが出来ないからである。参加者が達した大まかな合意は、市民社会とは非国家、非市場の領域ということであった。経営者団体や労働組合などの「市場アクター」は市民社会に含まれるのかが問題になったが、これらの団体は市場と市民社会の両方の領域にまたがる存在であり、その社会・政治的機能に注目する限りにおいて市民社会に含むことができるということになった。ある参加者が指摘したように、欧米諸国に比べ経済的に後発の日本や他のアジア諸国においては、市民社会形成において市場とその領域でのアクターの影響は見落とすことが出来ないのである。

筆者自身の発表テーマは、労働組合が市民社会のアクターとして果たした役割についてであった。労働組合が市民社会組織（association）として、メンバーの利益をどの程度有効に代表（represent）したのか、経営者や国家などの交渉相手とは相対的に自律した独自の活動領域を形成できたのかという問題提起をした。そして、大手鉄鋼労働組合のケースに基づき、労働組合は多様な組合員の利益を媒介して有効に代表することが出来ず、市民社会組織としての役割を果たさなかったと論じた。また、その背景とし

て企業レベルにおいて経営組織と組合組織の境界があいまいになり組合が独自の活動領域を形成できなかったことを指摘した。それに対し他の参加者からは、労働組合・労働運動がどの程度独自の文化を形成する努力をしたのか論じてほしい、大手民間労組のケースだけでなく他のセクターのケースも加えてほしい、などの意見が出された。

(すずき・あきら 法政大学大原社会問題研究所助教授)

CONFERENCE ON "GLOBAL PERSPECTIVES ON CIVIL SOCIETY IN JAPAN"

### AGENDA

#### Thursday, January 13

##### Session 1

Moderator: Susan Pharr

Frank Schwartz, "What Is Civil Society?"  
Discussants: Helmut Anheier and Susan Pharr

Robert Pekkanen, "Civil Society in Japan"  
Discussant: Patricia Steinhoff and Yamagishi Toshio

##### Session 2

Moderator: Sone Yasunori

Sheldon Garon, "From Meiji to Heisei: The State and Civil Society in Japan"  
Discussant: Margarita Estevez-Abe

Tsujinaka Yutaka, "Japan's Civil Society Organizations in Comparative Perspective"  
Discussant: Hagen Koo

#### Friday, January 14

##### Session 3

Moderator: Muthiah Alagappa

Margarita Estevez-Abe, "The Role of Big

Business in Shaping Civil Society"  
Discussant: Andrew Gordon

Robert Bullock, "Japan's Small-Business and Agricultural Sectors in Civil Society"  
Discussant: Patricia Maclachlan

##### Session 4

Moderator: Andrew Gordon

Suzuki Akira, "The Role of Labor Unions in Civil Society"  
Discussant: Sheldon Garon

David Johnson, "A Tale of Two Systems: Prosecuting Corruption in Japan and Italy"  
Discussant: Susan Pharr

#### Saturday, January 15

##### Session 5

Moderator: Tsujinaka Yutaka

Hiwatari Nobuhiro, "The Effects of Political Reform and Changing Party Systems on Civil Society in Japan and Italy"  
Discussant: Robert Bullock

Patricia Maclachlan, "The Struggle for an Independent Consumer Society"  
Discussant: Sone Yasunori

##### Session 6

Moderator: Helmut Anheier

Yamagishi Toshio, "Trust and Social Intelligence in Japan"  
Discussant: Patricia Steinhoff

Kim Reimann, "Japanese International Development NGOs, the State, and International Norms"  
Discussant: Tsujinaka Yutaka and Muthiah Alagappa